

工事説明書 脱水洗濯機

Wascator FOM71 CLS



Electrolux
PROFESSIONAL

安全上のご注意

- ◎ 機械の性能を十分発揮させ、かつ安全にご使用いただくため、据え付け、電気工事、配管工事は、それぞれの専門の工事業者が行ってください。
- ◎ 必ず据え付けの前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。
- ◎ ここに示した注意事項は

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意すべき内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は発火注意）が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は特定しない一般的な使用者の行為の強制）が描かれています。



警告

据え付け故事を行う方へ

製品を安全に正しくご使用いただくために工事説明書の指示に従って工事をしてください。

据え付け工事終了後に取り扱い説明に従って取り扱い上の注意をオーナーに説明してください。



本製品は水洗い用です

揮発性、また可燃性の液体を含む柔軟剤及びドライクリーニング用溶剤は使用しないでください。



⚠ 警告

フロントパネル、リアパネル、 トップパネルを開いたまま 運転しない



フロントパネル、リアパネル、およびトップパネルを開いたまま運転すると可動部や回転部に触れ、けがをすることや故障の原因となります。

操作パネルに水をかけない



操作パネルには、水をかけたり、濡れた手で触れたりしないでください。感電や漏電による火災のおそれがあります。

切替スイッチを操作する ときは



PCボードの切替スイッチを操作するとき、および機械の点検やお手入れを行うときは、必ず電源を切ってから行って下さい。感電や回転部、振動部への接触によるけがのおそれがあります。

分解や改造はしない



自分で絶対に分解や改造はしないでください。感電やショートによる火災、また異常動作によるけがのおそれがあります。



湿気の多い場所では漏電遮断器を必ず取り付ける



湿気や水気のある場所に据え付けるときは、漏電遮断器を必ず取り付けてください。故障や漏電した場合、感電することやけががあります。

機械を廃棄するときは



洗濯機を廃棄される場合は、子供のいたずらによるとじ込め事故防止のため、前面のドアを取り外してください。産業廃棄物処理指定業者へ廃棄を依頼してください。

屋外には設置しない



この洗濯機は室内用です、屋外で風雨にさらされる場所に置くと、感電や故障の原因となるので、必ず室内に設置してください。



アースは確実に取り付ける



万一の感電や落雷時における事故防止および制御回路の耐ノイズ性を向上させるために、必ず本洗濯機専用のアースを設けてください。工事は接地工事についての指示に従ってください。



ドア用ロック装置は短絡しない



絶対にドア用ロック装置は短絡しないでください。異常動作によるけがのおそれがあります。

注意

フロントパネルとドラム外槽とのすきまに手を入れない



フロントパネルとドラム外槽との隙間には手を入れないでください。運転中、ドラム外槽は振動しますので、すきまに手を入れていると挟まれてけがをすることがあります。



据付け工事の際、電源仕様を確認する



据え付け工事の際には銘板を確認して使用する電源が適合しているかどうか確かめてください。電源仕様が異なっていると故障や異常動作によるけがのおそれがあります。

洗濯機の後ろ側などには入らない



洗濯機の後ろ側に入ったり、上に乗ったりしないでください。モーター、プーリーなどの回転物、あるいは給湯ホースなどの高温部に触れたりして、けがや、やけどをすることがあります。

また、店内では仕切などを設けて、お客様（特に幼児）が機器の後ろに入ったり、上に乗ったりすることができないようにしてください。



目次

目次

1	安全対策について	9
1.1	一般安全情報	10
1.2	商業用途専用	10
1.3	記号	10
1.4	その他の注意事項	10
2	技術データ	10
2.1	図面	10
2.2	技術データ	12
2.3	接続部	12
2.4	機能/サブシステム	13
3	設置	15
3.1	運搬と開包	15
3.2	位置付けとフロア	17
3.3	機械関連のインストール	18
4	給水の接続	20
5	排水の接続	21
6	サンプルタップ	21
7	外部液体路の接続	22
8	電気関連の据付	25
8.1	電気接続	26
9	作動チェック	27
9.1	手動操作	27
10	ルーラーの組み立て	28
11	レベル制御システムの校正	29
12	スケールの校正 (ウェイト機能)	32
13	サーモセンサーの接続	33
14	廃棄に関する情報	34
14.1	本機の耐用年数終了時の廃棄	34
14.2	梱包材の廃棄	34

製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

1 安全対策について

- 資格のある人員のみが修理を行うことができます。
- 修理には認証された部品や付属品、消耗品のみを使用してください。
- 布地の水洗い用洗剤のみを使用してください。ドライクリーニング剤の使用は絶対に避けてください。
- 新しい給水ホースを機械に接続してください。中古の給水ホースは使用しないでください。
- 本機のドアロックを改ざんしてかけなくてすむようにすることは、いかなる状況下でもおやめください。
- 本機械に不具合が生じた場合、担当者にただちにこの問題を報告することが必要です。使用者および他の方々の安全のためにも重要です。
- 本機を改造しないでください。
- サービスの実施やパーツ修理の際は、電源ケーブルは抜いてください。
- 電源がオフになったら、オペレーターは機械が全てのアクセスポイントからオフになっている（プラグが外された状態）ことを確認する必要があります。機械の製造または設置理由からこれが不可能な場合、分離位置にロックシステムを設置することでオフにする方法が提供されなければなりません。
- 配線規則の順守：本機の据付や点検操作の前に、マルチポールスイッチを取り付けてください。
- 機械のデータプレートに異なる定格電圧もしくは異なる定格周波数（/で区切られています）が表示されている場合は、必要な定格電圧または定格周波数で作動するように器具を調整する手順が設置マニュアルに記載されています。
- 過電圧カテゴリⅢで完全な切断を提供する、すべての極に接点分離がある電源メインからの切断手段が装備されていない固定機器の場合、切断手段は配線規則に従って固定配線に組み込む必要があると指示されています。
- ベース部分の開口部がじゅうたんなどで塞がれないようにしてください。
- 乾燥させる布の最大重量：7kg
- 作業場での荷重排出音圧：
 - 洗濯時：70 dB(A)以下。
 - 脱水時：70 dB(A)以下。
- 最大の入水圧 1000 kPa
- 最小の入水圧 50 kPa
- 次の国に関する追加要件：AT、BE、BG、HR、CY、CZ、DK、EE、FI、FR、DE、GR、HU、IS、IE、IT、LV、LT、LU、MT、NL、NO、PL、PT、RO、SK、SI、ES、SE、CH、TR、UK：
 - 注意：本機を公共の場に設置しないでください。
- 他の国の追加要件：
 - 身体、感覚、精神的能力が減少している方、または知識や経験が不足している方（子どもを含む）は、安全性に関する責任を持つ人物から、機器の使用について監督または指示を受けない限り、本機器を使用することができません。お子様が本機で遊ばないよう監視してください。
 - 本装置は、家庭および以下のような場所や目的でのご使用を想定しています。（IEC 60335-2-7）店舗内の厨房、事務所とその他の作業環境、農家、ホテルの顧客によって、モーテル、その他のタイプの居住環境、ベッドおよび朝食を摂るための環境、アパートやコインランドリーといった共同使用するためのエリア。

1.1 一般安全情報

この機械の用途は、水を使用しての洗濯のみとなっています。

本機に対し、ホースで水をまかないでください。

水滴により、電子機器 (およびその他のパーツ) へ損傷が発生する可能性を防止するため、初めて本機械を使用する24時間前までに、温度が室温である場所に置いてください。

1.2 商業用途専用

本書で説明されている機械製品は、商業用、業務用専用に製造されています。

1.3 記号

	注意
	注意、高電圧
	本機の使用前に説明書をお読みください

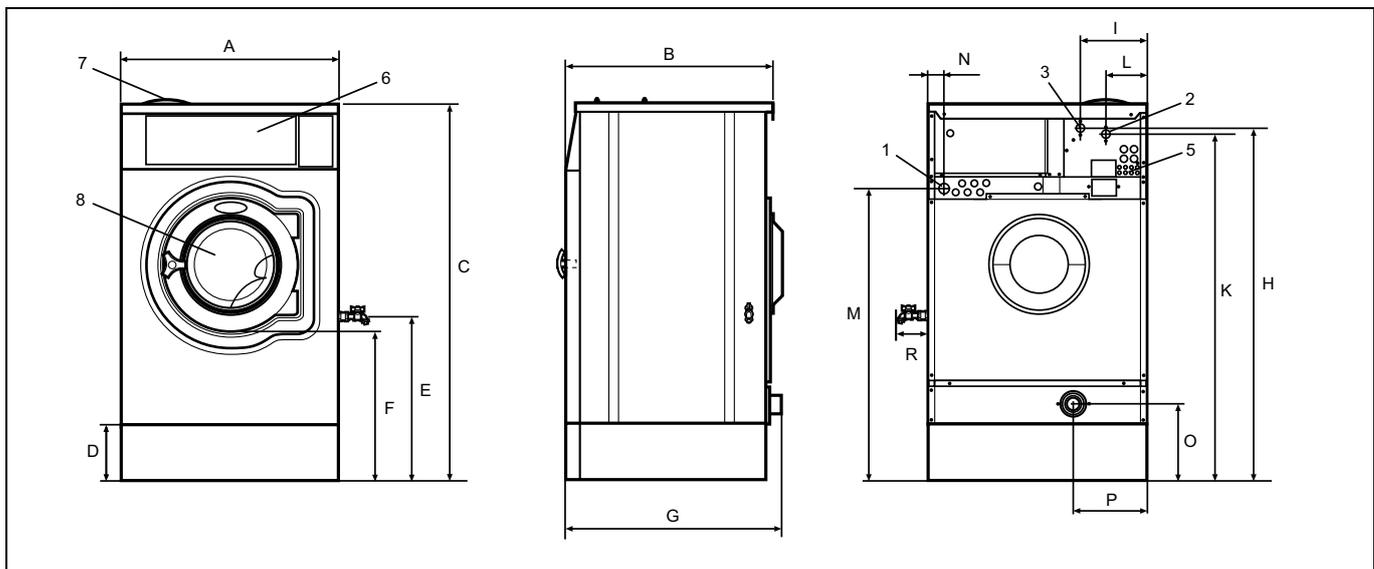
1.4 その他の注意事項

注
重量校正 (Wascator FOM71 CLSのみ) :
ディスプレイに $\pm 0.1\text{kg}$ 以上の値が表示されている場合は、スケールをゼロにリセットします。
レベル校正 :
長時間のテストを開始する場合は、確認と調整を行います。

注
表示されるテキストや機能の一部は、ご使用の機械のバージョンでは表示されない場合があります。

2 技術データ

2.1 図面



1	電気接続
2	給水

3	温水
4	排水口
5	液体洗剤投入
6	コントロールパネル
7	洗剤箱
8	ドア開口、 ϕ 310 mm

mm	A	B	C	D	E	F	G	H
	720	690	1315	200	750	555	720	1230

mm	I	K	L	M	N	O	P	R
	220	1010	135	825	45	100	240	135

2.2 技術データ

内部ドラム、容量	リットル	61
内部ドラム、直径	mm	520
加熱、電気	kW	5.4
Gフース	最高	350
本体重量(正味)	kg	195

2.3 接続部

給水バルブ接続	DN20 BSP	3/4"
推奨水圧	kPa	200-600
給水電磁弁の動作範囲	kPa	50-1000
300 kPa時の給水能力	l/分	20
排水弁外側 ϕ	mm	50/75
排水能力	l/分	170

2.4 機能/サブシステム

周囲条件 本機は、標準的な洗濯機と同様の使用環境下で正常動作します。しかし誤差を含む機能値は、使用環境の条件が以下の通りに保たれた場合のみに有効であるものとします。	
電圧	公称 ±2%
周波数	公称 ±2%
水の硬度	(2.5±0.2) mmol/l
給水 (冷水)	(15±) °C
給水 (温水)	最大 (60±2) °C
水圧	(240±50) kPa
周囲動作温度	(20±5) °C
内部ドラム	
直径	(520±1) mm
奥行き	(315±1) mm
容量	61 l
リフティングペーン：番号	3
高さ	53 mm
半径	17 mm
ベース幅	65 mm
孔：直径	5 mm
カウンターシンクの深さ	2.5 mm
総穴面積	600 mm ²
材質：ステンレススチール	2333 (SS 18/8)
外部ドラム	
直径	554 mm
サンブ	~ (1300±25) ml
材質：ステンレススチール	2333 (SS 18/8)
ドア開口部	
開口部直径	310 mm
キャビネット	
ステンレススチール	2333 (SS 18/8)
ドラムの回転速度	
洗濯時の回転速度: プログラマブル	(20 – 59±1) RPM
脱水：プログラマブル	(200 – 1100±20) RPM
反転リズム	
プログラマブル	(0 – 250±0.1) = sec. (許容範囲は、タイマー間隔を指します)
水位	
重量検知：	
再現性	±0.1kg/洗濯槽
ステップサイズ	≤0.05kg
投与精度重量制御	≤0.2kg/洗濯槽
水位検知：	
再現性	±5 mm
ステップサイズ	≤2 mm
投与精度水位制御	≤0.8リットル/洗濯槽
サーモスタット	
各洗濯段階で連続可変	あり
選択可能な間隔	(4-97)°C
プログラムステップ	1°C
インターバル30-97の温度精度をオフにする°C	±1°C
インターバルスイッチオフ温度 - スイッチオン温度	≤4°C
洗剤箱	
コンパートメント数	4
プログラマブルな液体洗剤の数	4

洗濯プログラム	
メモリーカード	IEC 60456 ISO 6330 M&S
承認	
標準の洗濯機と同様の承認を得ていること	CE
特別装備	
洗濯槽右側の洗濯液サンプリング用手動タップ:	あり
後部切妻壁の温度記録センサー用接続:	あり
リントラップ接続の可能性:	あり
M&Sおよび (IEC、ISO) 用の安全コピープログラム付きメモリーカード:	あり
ISO 9000規格に従った機械のカリブレーション手順:	あり
洗濯中に洗濯槽からテストサンプルを取り出せる可能性:	あり
ロードセルからデータ収集システムへのアナログ出力:	あり

3 設置

3.1 運搬と開包

本機械は、運搬台にボルト付けされ、木枠あるいは箱に梱包されて配送されます。

- 本機械から梱包材を取り除いてください。
- 前面と後面のファンデーションパネルを取り除いてください。
本機をパレットに固定しているボルトを取り外します。
- 前面と背面のパネルを取り付けてください。
- ロードセルに足とスペーサーを装着します。
足を取り付けるまで、機械を動かさないでください。
脚部のネジ穴に注意してください。

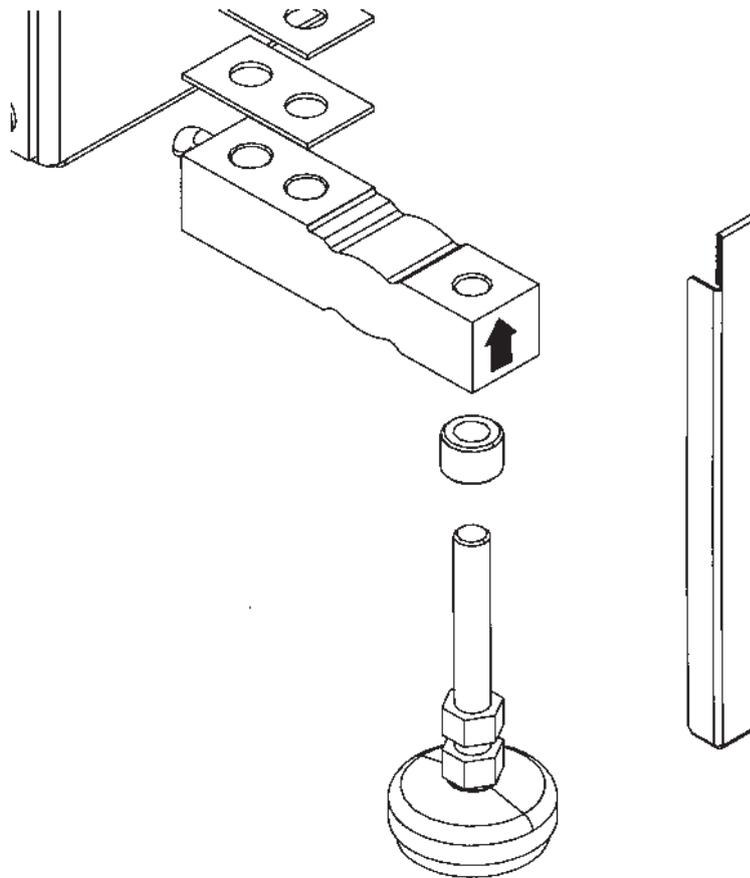


fig.X02882

- 機械を押し戻し、後ろの足2本を先に取り付け、次に前の足2本を取り付けます。
ロードセンサーブリッジの穴に脚部を取り付けます。
- 本機を持ち上げて、運搬用パレットを取り外します。
- 本機械を最終位置に設置してください。

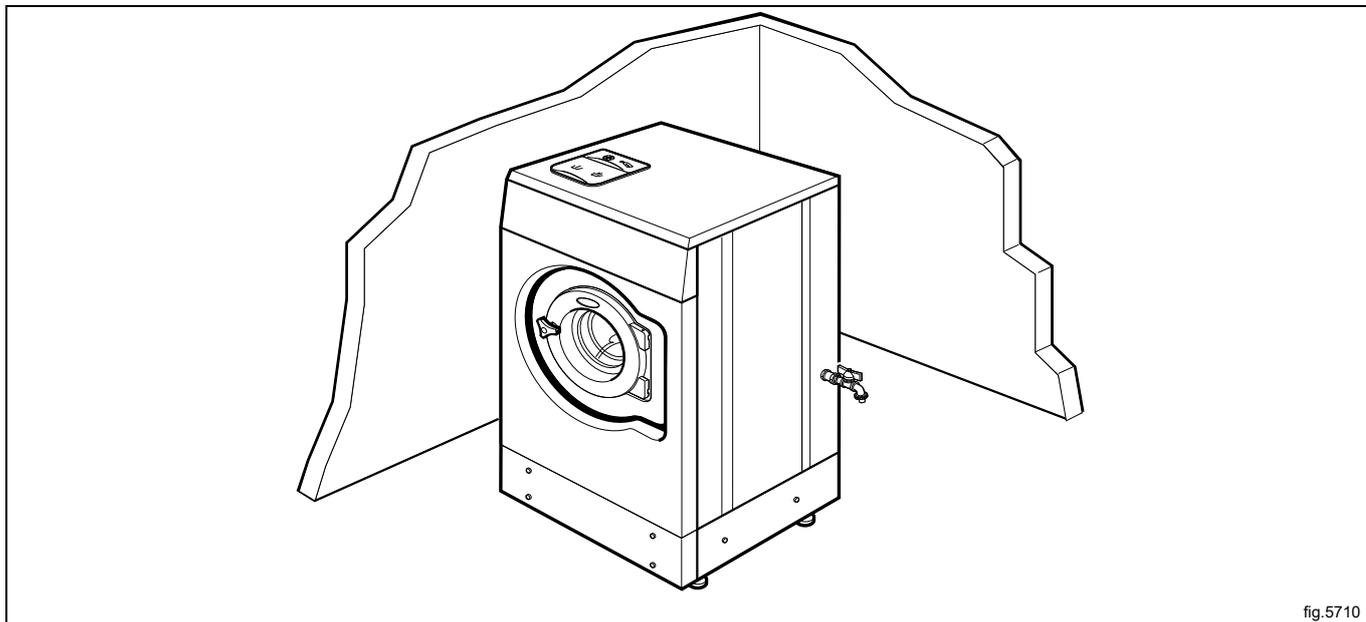


fig.5710

- 機械が水平になるよう本機械の足を調整してください。
本機械には安全運搬のための器具が同梱されています (サポートとドラム間の4つのプレート角) 。

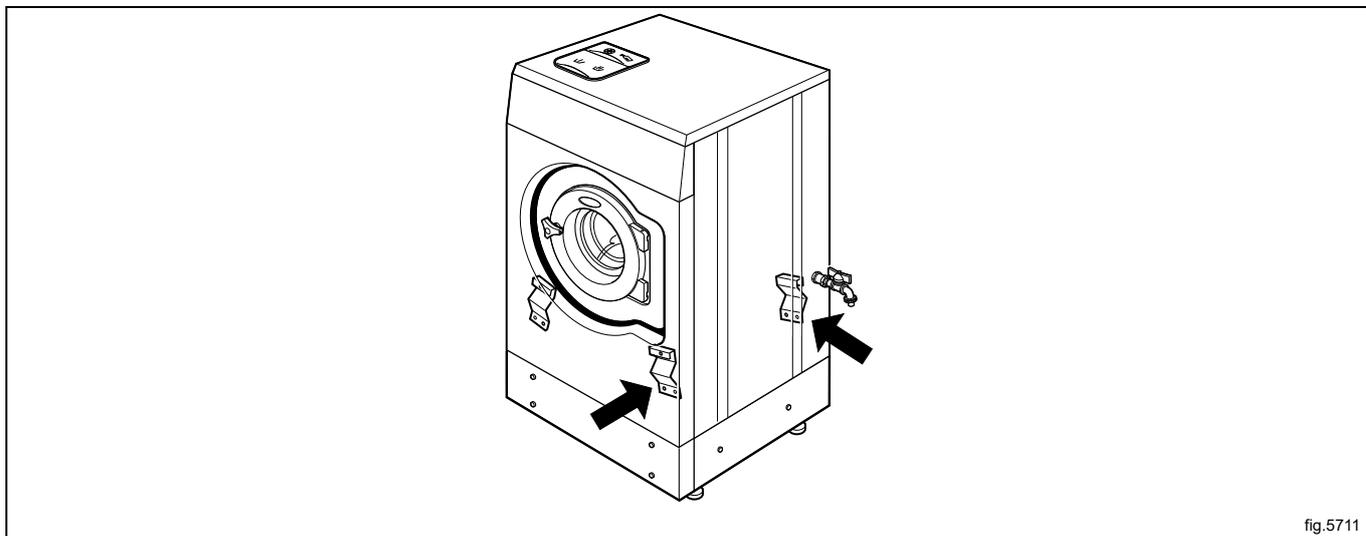
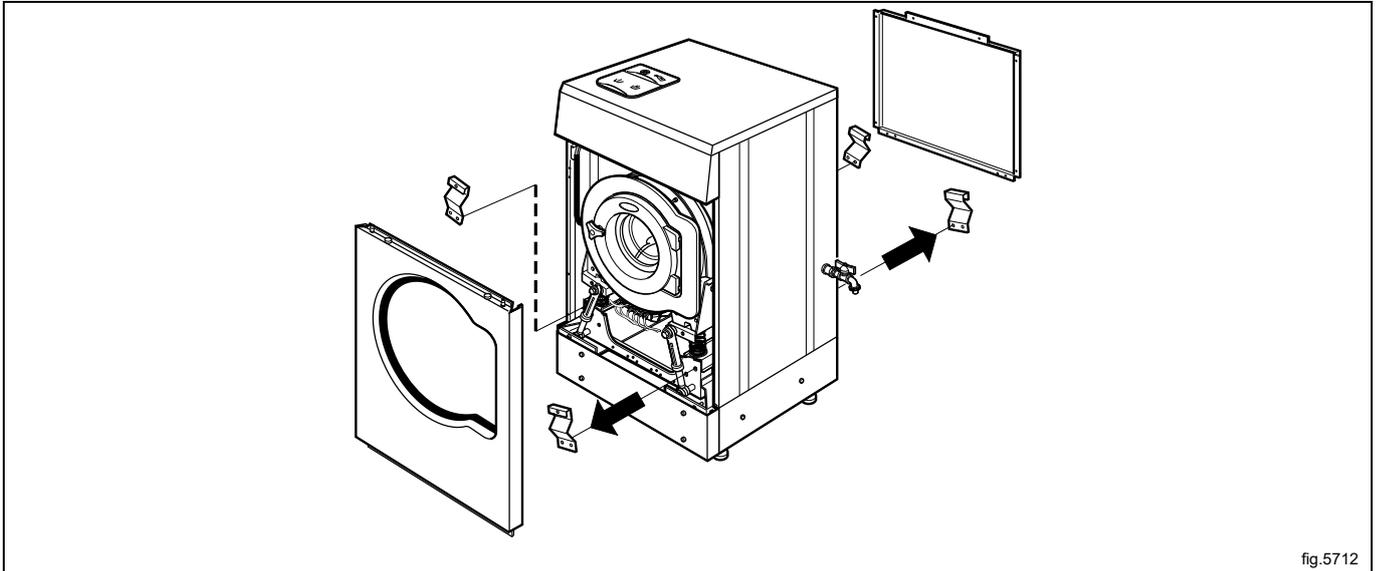


fig.5711

安全器具を取り除くには以下を行ってください。

- 前面と後面のパネルを取り除いてください。
- 前面金属角の両方を取り除いてください。
- 背面金属角の両方を取り除いてください。
- 安全運搬器具が外された状態で本機械を移動してはなりません。安全運搬器具は、後に使用することがありますので、保管しておいてください。

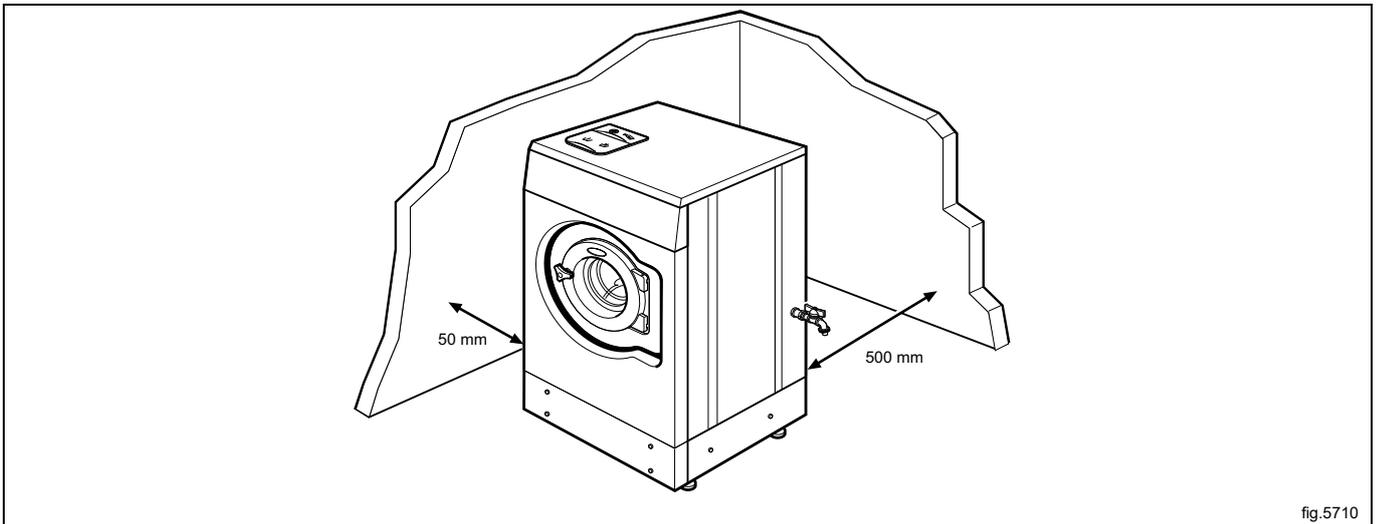


3.2 位置付けとフロア

本機を床の排水口または排水溝に近い位置に設置してください。

本機械のインストールや点検を簡単にするために、下記のようにすき間を設けることをお勧めします。

- 本機械と後ろの壁の間に最低 500 mm。
- 本機械の両横、壁または他の機械との間に最低 50 mm。



3.3 機械関連のインストール

- 機械の設置場所に印をつけます。
- 図中の丸い印 (A) は、機械の足を設置する場所です。

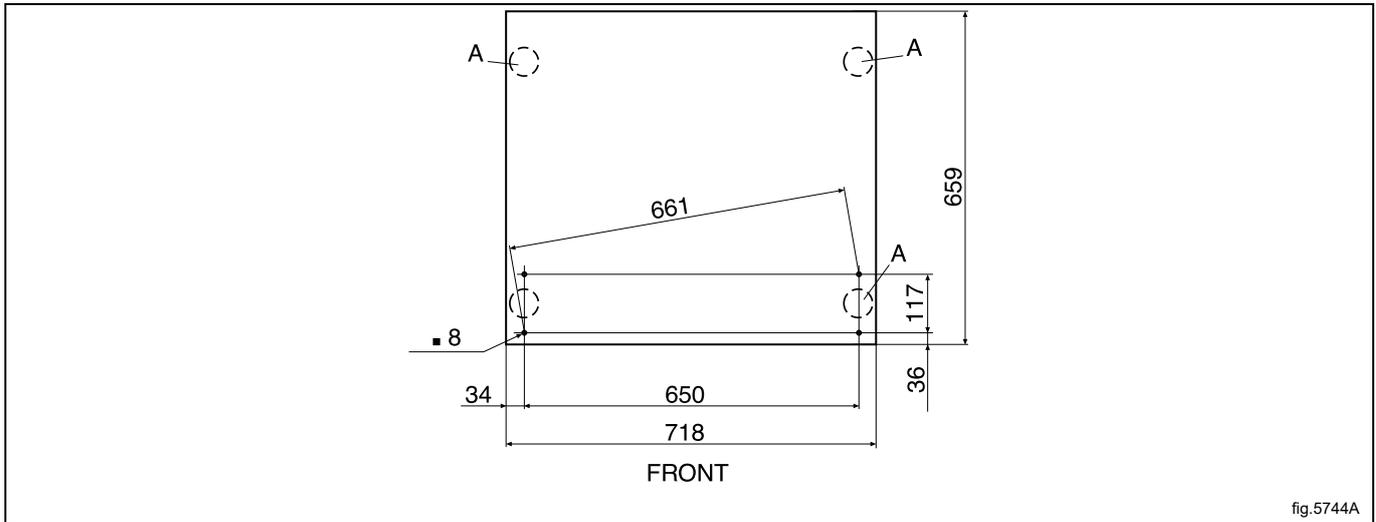


fig.5744A

- 機械の前部にある2つの足には、2つのチルトプロテクションを取り付けます。
- 床に4つの穴 (B) の印を付けます。

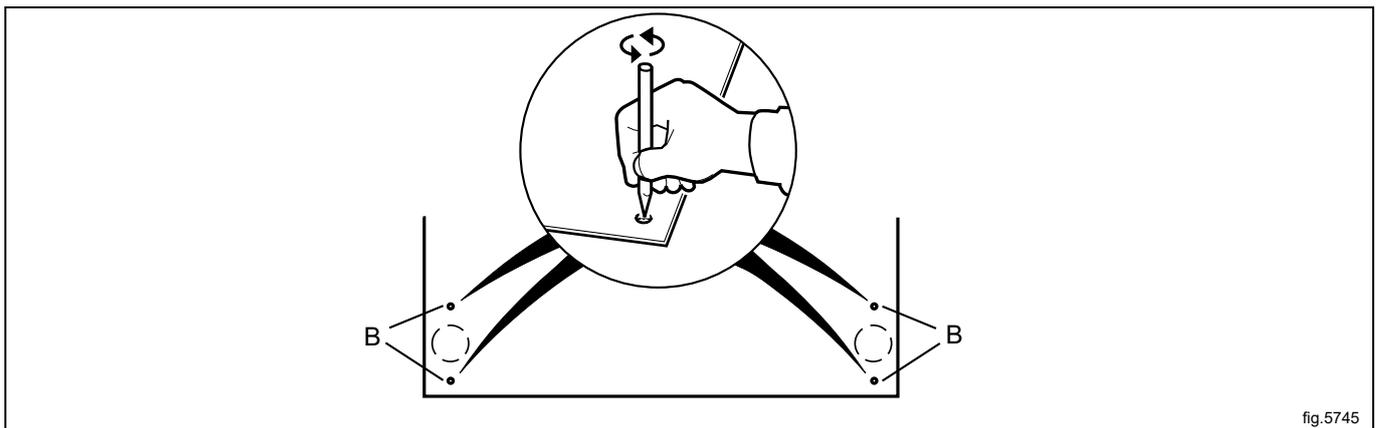


fig.5745

- ドリルで直径 $\phi 8$ 、深さ 40mm の穴を開けます。穴の中に4本のエキスパンダーボルトを取り付けます。

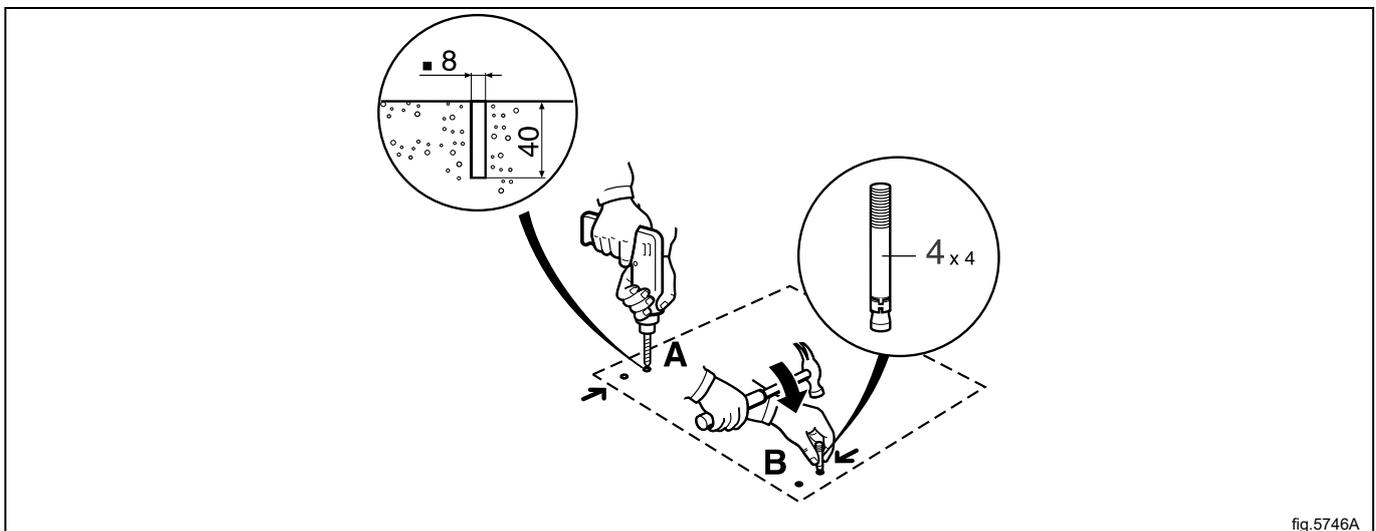
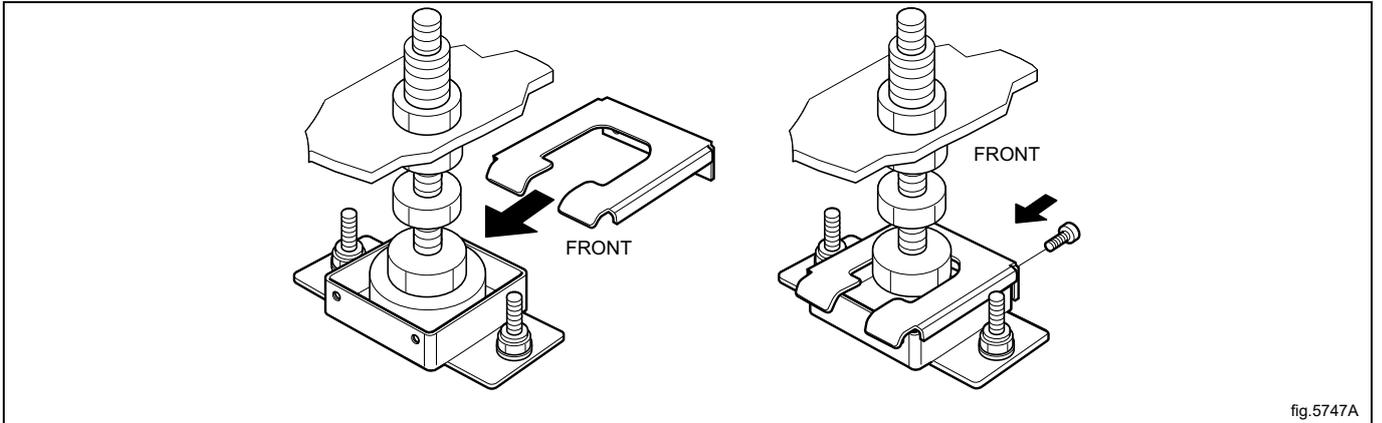


fig.5746A

- 底面のフレームで機械を持ち上げ、カップに足が入るように置きます。足をできるだけカップの中央に置いてください。
- チルトプロテクションを取り付け、2本のネジで締め付けます。



- 本機が水平に設置されていることを確認してください。足で調整し、カウンターナットでロックします。



機械を片側からもう一方の側、前面から背面、すべての方向で水平に設置することは非常に重要です。本機が水平に設置されていないと、ドラム部のバランスが保たれていても、最終的なバランスが損なわれる可能性があります。

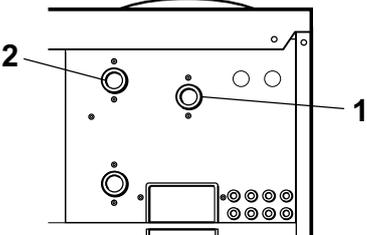
4 給水の接続

インストールや点検を容易にするために、本機械への取り入れ接続はすべて手動遮断バルブやフィルターに合うものとしします。機械が、地域の給排水設備に準拠するよう、非リターンバルブが必要となる場合があります。

水道管やホースは接続前に水を流してきれいにしてください。インストール後、ホースはゆるやかな弧状にして掛けてください。

水道コネクタはすべて接続されなければなりません。そうでないと、洗濯プログラムが正しく作動しません。

付属の給水ホースまたはY字ホースを機械に取り付けます。ホースが緩やかな弧を描いて垂れていることを確認してください。ホースが硬いと、計量に誤差が生じることがあります。

	水のタイプ	給水の接続
 <p>The diagram shows a top-down view of the water inlet panel. It features two circular connection points, one on the left and one on the right. The right-hand connection point is labeled with the number '1', and the left-hand connection point is labeled with the number '2'. Below these points, there are several smaller circular ports and a rectangular component, likely a filter or valve assembly.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 冷水と温水 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コールド 2. ホット

5 排水の接続

75 mm (2 1/2")の柔軟性のあるゴムホースを本機の排水パイプに接続し、本体からの下向きの流れを確認してください。急な角度には曲げないでください。正しい排水を妨げる場合があります。

排水ホースと排水口の間には、50mmのエアギャップを設けてください。

排水ホースに柔軟性があり、スケールの重量に問題が生じないことを確認してください。

ロードセルの関係で、塩ビ管やそれに準ずる素材は接続できない場合があります。

排水ホースは床の排水口、排水路、またはそのようなものの上に設置します。機械本体の排水口と床の排水口との間隔は最低 25 mm (1") 取ってください。

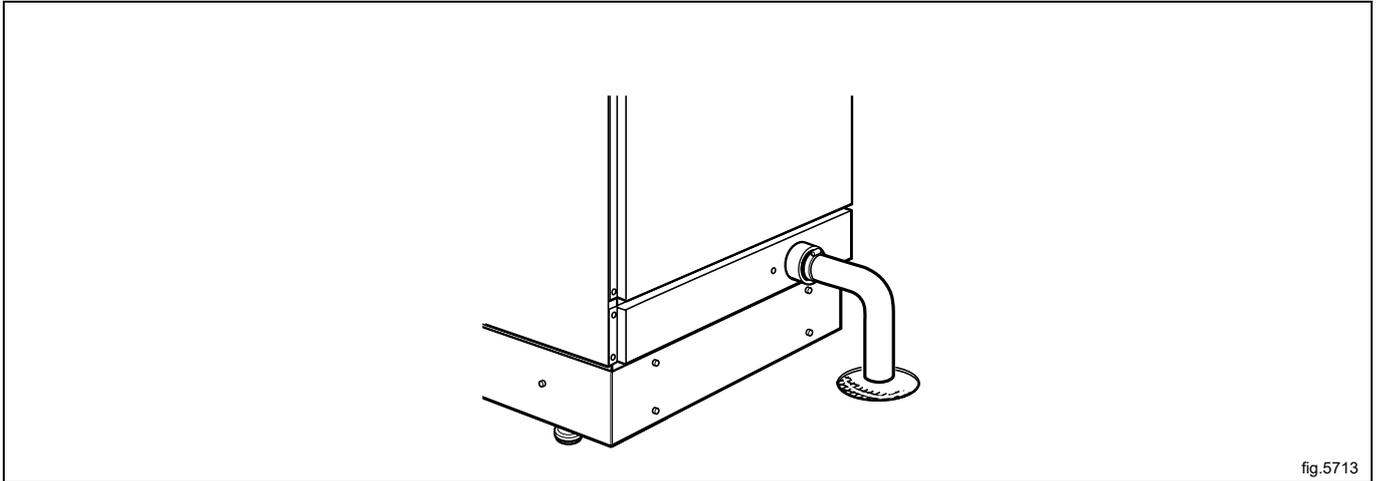


fig.5713

6 サンプルタップ

機械の右側にタップを取り付けます。取り付ける際は、糸巻きテープを使用してください。

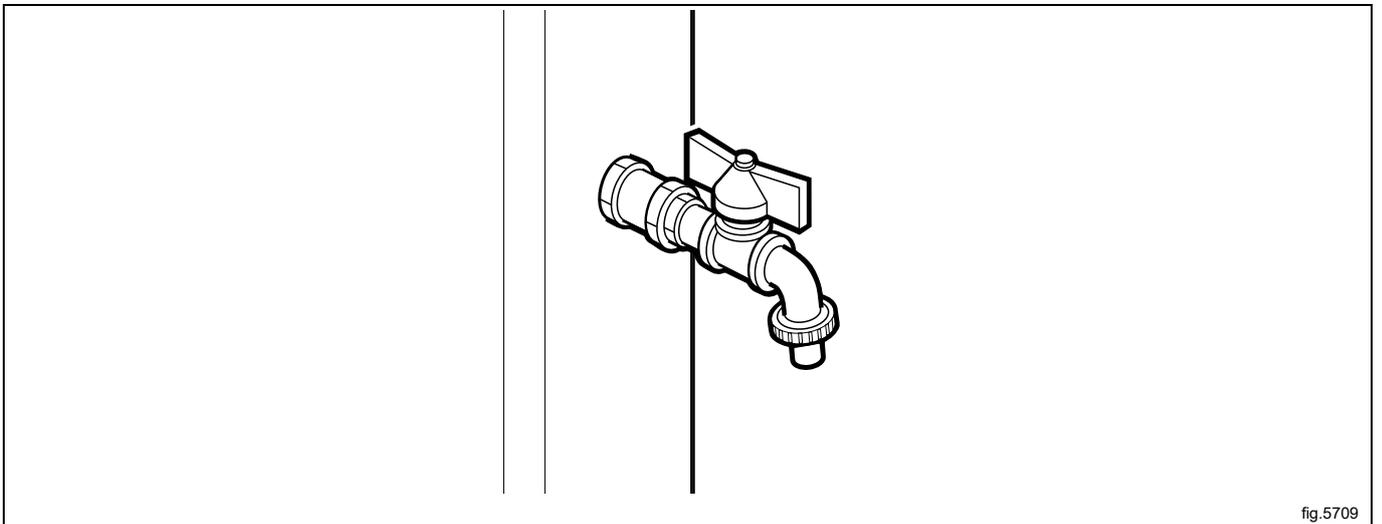


fig.5709

7 外部液体路の接続



電気設備の作業は、必ず認定された担当者が実施してください。



接続されるオプション機器は、EN 50081-1 または EN 50082-2 の EMC 認証を取得している必要があります。



配布カードAを用いて外部機能、出力信号、入力信号をコントロールすることができます。

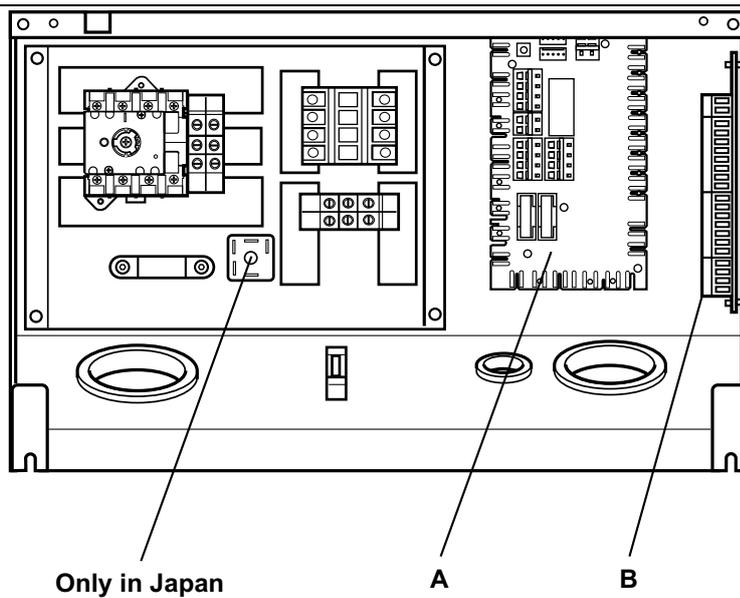


fig.5331

出力 (200-240V AC):

X71:1,2 信号「ドアはロック済みで、プログラムがON」

X72:1 0V (一般)

X72:2 液体供給 1

X72:3 液体供給 2

X72:4 液体供給 3

X72:5 液体供給 4

X73:1 洗剤ボックス 1 (Y11)

X73:2 洗剤ボックス 2 (Y12)

X73:3 洗剤ボックス 3 (Y13)

X73:4 洗剤ボックス 4 (Y24)

X73:5 洗剤ボックス 2 (Y22)

入力:

X70:1,2 Paus/PC5

X70:3,4 スタート/ストップ

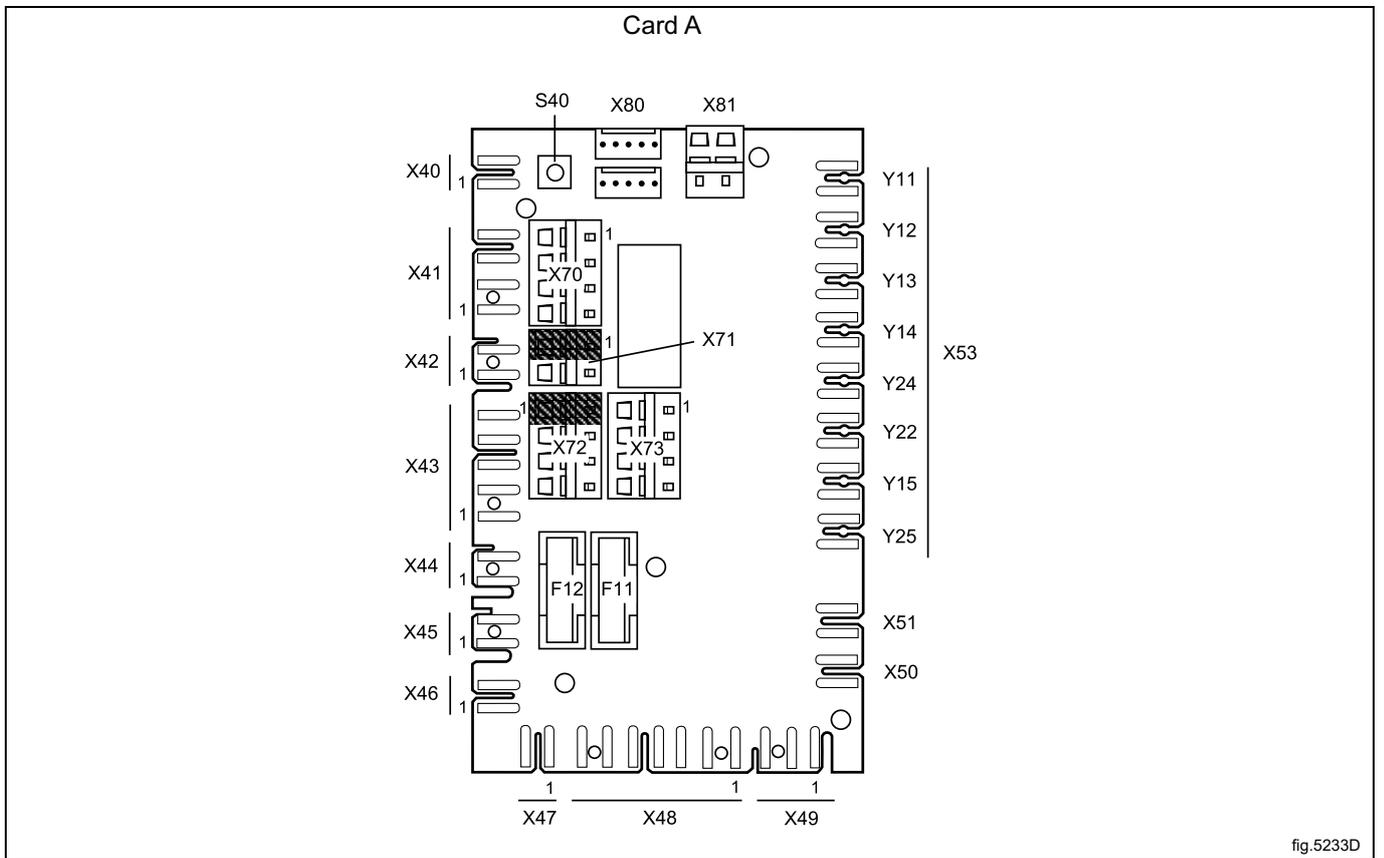


fig.5233D

さらに信号を必要とする場合、機械に第2の配布カードBを適用することができます。

出力 (200-240V AC):

X75:1 0 V (一般)

X75:2 液体供給 5

X75:3 液体供給 6

X75:4 液体供給 7

X75:5 液体供給 8

X76:1 0 V (一般)

X76:2 排水路口ツク

X76:3 排水路 A

X76:4 排水路 B

X76:5 排水路 C

X76:6 吸水口 A

X76:7 吸水口 B

X76:8 吸水口 C

X77:1,2 ブザー

入力:

X74:1,2 加熱1 / 加熱2間の切り替え

X74:3,4 機能なし

出力:

X78:1 + 4-20 mA (4mAは0kg、20mAは80kgに相当)

X78:2 - アナログ出力

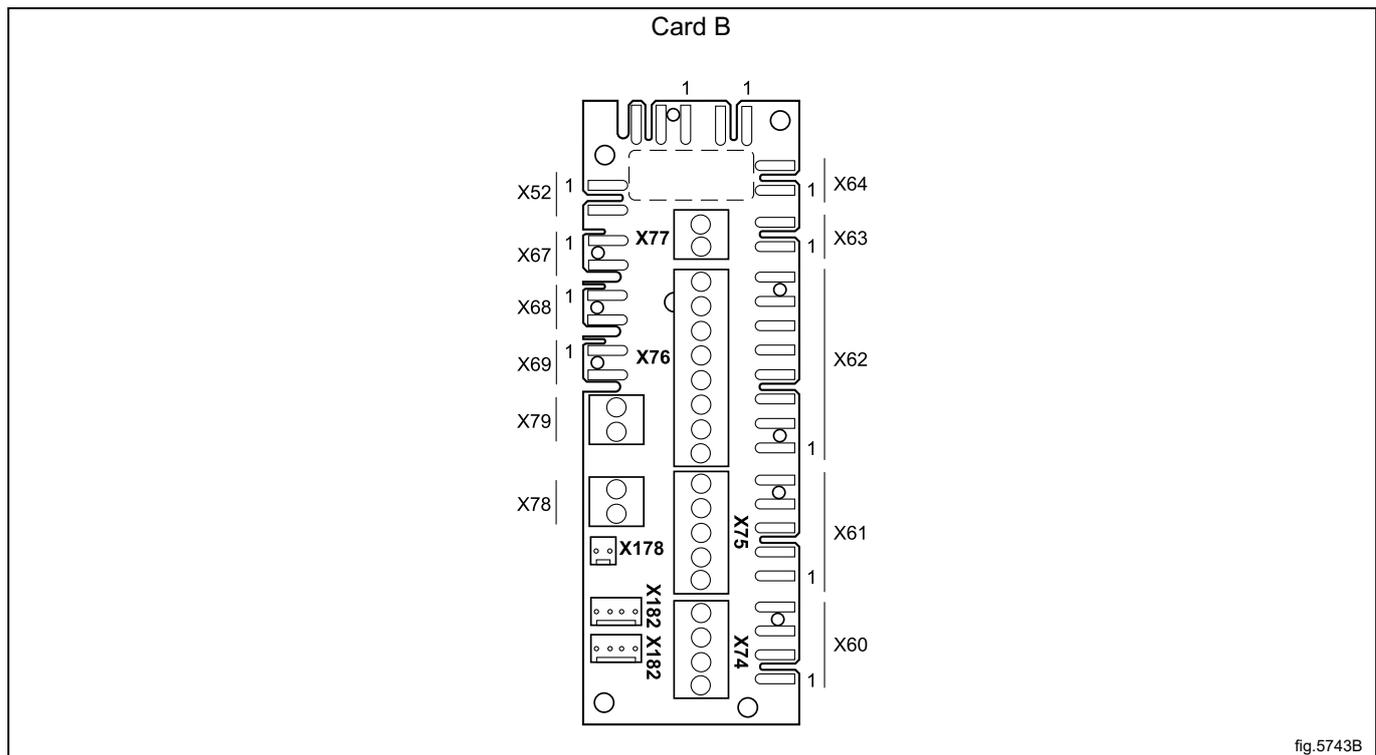


fig.5743B

8 電気関連の据付



電気設備の作業は、必ず認定された担当者が実施してください。



機械のモーターが頻繁にコントロールされていると、アース漏れ回路ブレーカのタイプによっては互換しない場合があります。機械は高度な個人の安全を提供するよう設計されており、それゆえにアース漏れ回路ブレーカのような外部装置は必要ありません。それでも機械をアース漏れ回路ブレーカを通して接続したい場合は、下記の点を念頭に置いてください。



- 技術を持つ公認の据付会社に連絡し、かならず適切なタイプのブレーカを選び、正しい寸法に作ってください。
- 操作が確実に行われるよう、アース漏れ回路ブレーカ一つにつき機械一台のみを接続してください。
- アースケーブルがアース漏れ回路ブレーカなどに正しく接続されることが大切です。

本機械の据付や点検操作の前に、マルチポールスイッチを取り付けてください。

接続ケーブルはゆるやかな弧状にして掛けてください。

ヒューズのサイズに関しては表を参照してください。

3相接続

図の例“3AC”や“3N AC”に示されているように、アース、中性、位相ケーブルを接続してください。

インストールが完了したら、下記をチェックしてください。

- ドラムが空であること。
- メインスイッチをONにすることで本機械が起動し、RAPID ADVANCE（早送り）を使用することで回転サイクルに到達すること。（操作マニュアルを参照してください。）

<p>3AC</p>		
<p>3N AC</p>		

8.1 電気接続

加熱方式	電圧方式	総kW	ヒューズ A
電気加熱	200 V 3 AC	5.8	20
	220/230 V 1 AC	5.8	35
	240 V 1 AC	5.8	25
	220 V 3 AC	5.8	20
	230/240 V 3 AC	5.8	16
	380/400/415 V 3/3N AC	5.8	10

9 作動チェック

9.1 手動操作

- メインスイッチで機械を ON にします。
- ドラムが空であることを確認し、ドアを閉じます。
- 排水弁を閉じます。
- 水の手動弁を開けます。

本操作説明書の『手動操作』章では、本機械の手動操作方法を述べています。

- 手動で冷水、次いで温水を充填します。水供給が適切に接続されていることを確認します。
- モーターをスタートして洗濯動作を開始し、モーターが時計方向・半時計方向に交互に回転して通常の動作を行っていることを確認してください。
- 最終温度を入力し、**START**（スタート）を押して加熱を開始します。必要に応じて、発熱体リレーが反応することを確認してください。
- 洗剤供給源がすべて適切に機能していることを確認してください。これには洗剤供給ボックス（付随している場合）も含まれます。
- 水の接続と排水弁を、漏れの兆候がないかどうか確認してください。
- 排水を行い、ドアを開けます。

10 ルーラーの組み立て

- 図に示されているように、スケールとルーラーを取り付けます。

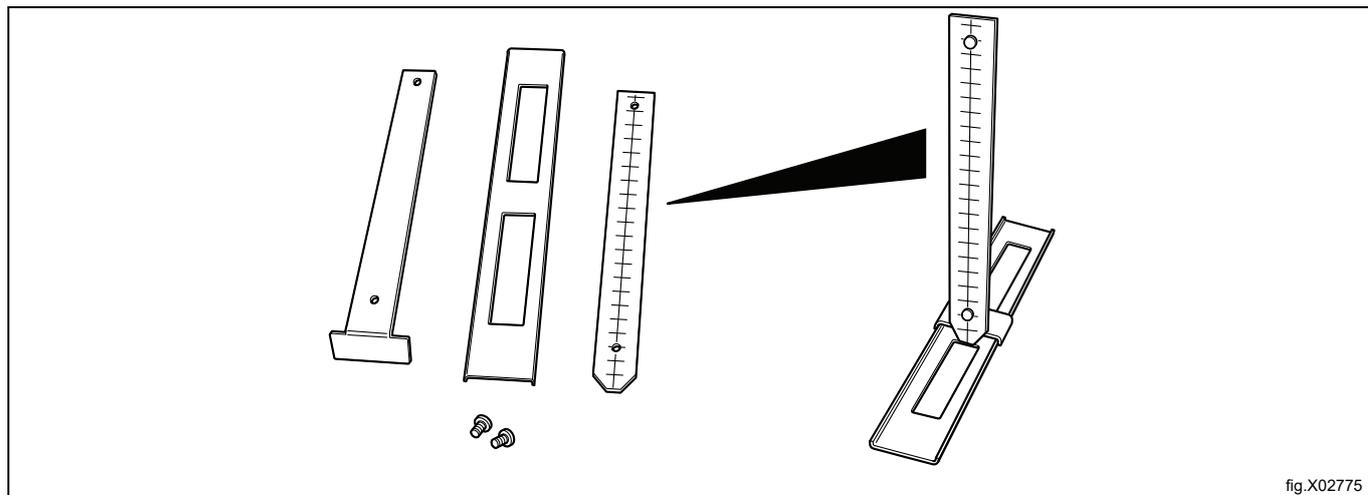


fig.X02775

11 レベル制御システムの校正

レベル制御システムは、個別に手動で校正することができます。校正は、内部ドラムの底のレベルから開始します。校正は、内部ドラムの底面から250mmまで行うことができます。本機には、内部ドラムの上の水位を読み取ることができるルーラーが付属しています。

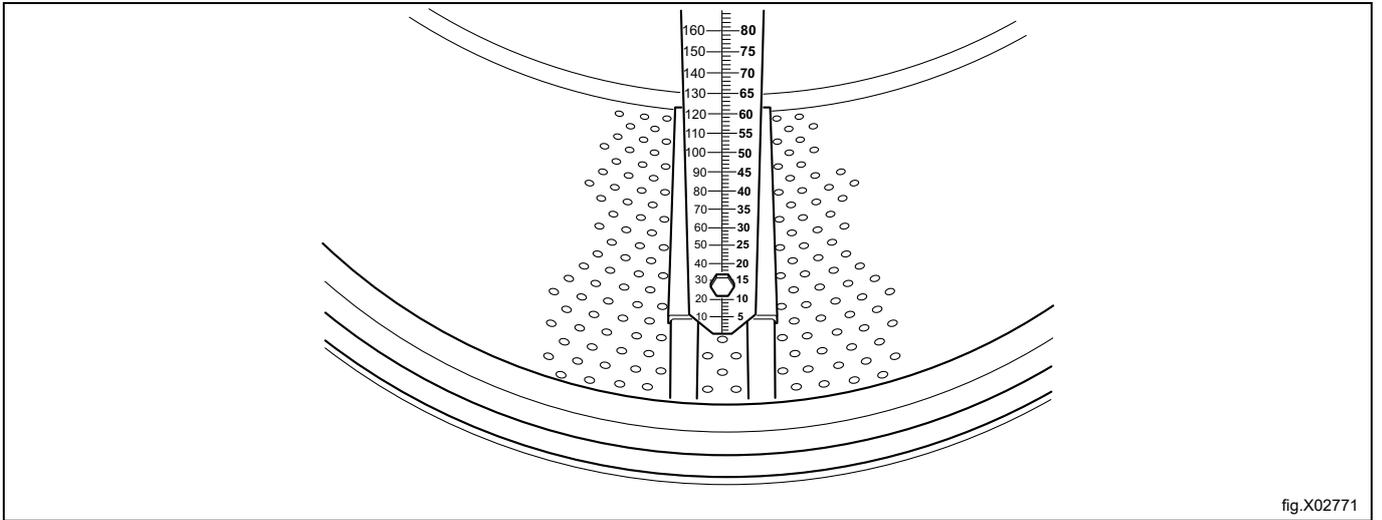


fig.X02771

- ルーラーを内部ドラムの底に置き、2つのリフターとフロントおよびリアの切込みの間に均等に置きます。ドラムを回転させ、ルーラーが完全に垂直になるようにし、ルーラーの3本のピンが内部ドラムの穴に収まることを確認します。
- ルーラーをドラムの底に押し付け、ナットを締めます。

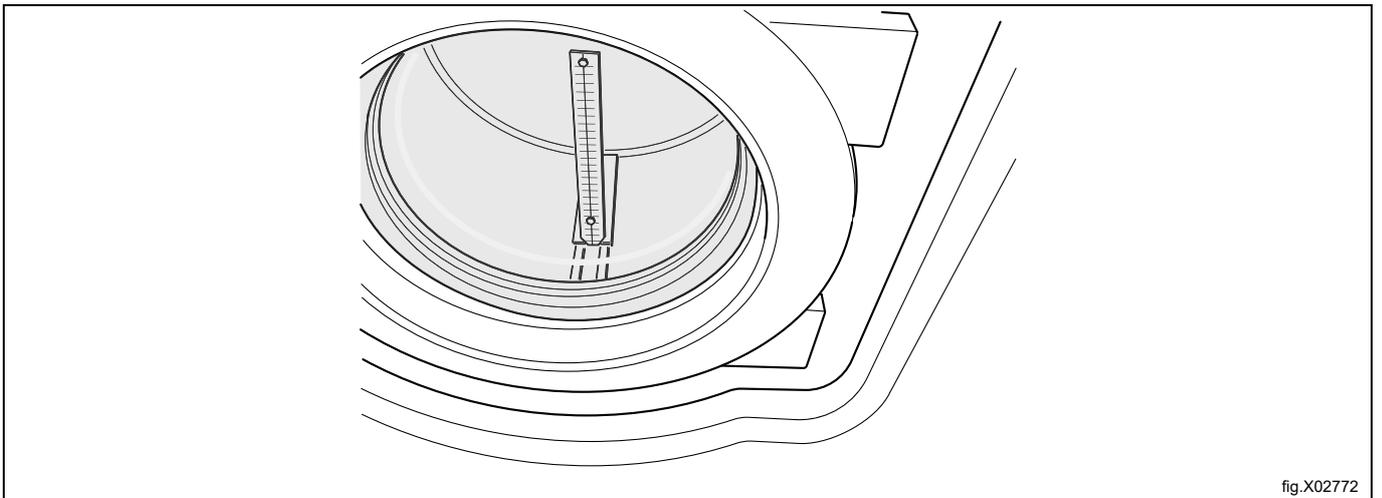
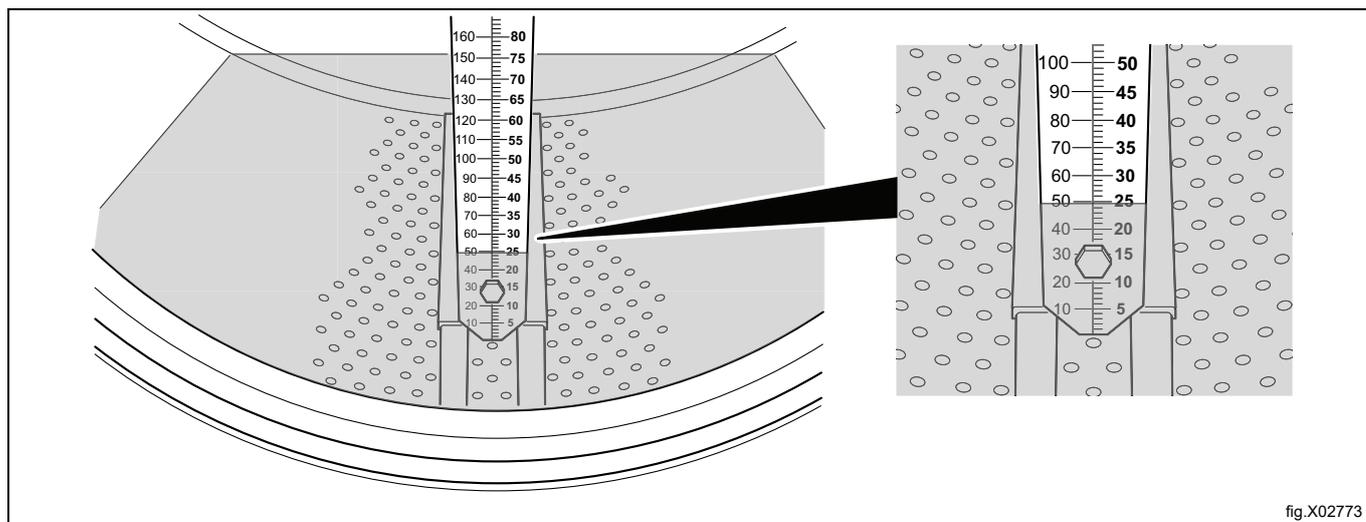


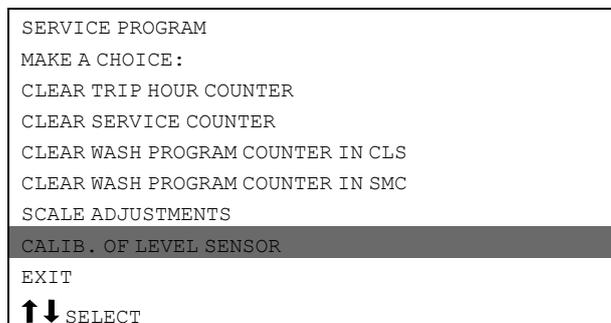
fig.X02772

- ドアを閉めてください。
- ルーラーには、mmとRU (正確に2mm/RU単位) の2種類の目盛りがあります。



校正は少なくとも5段階のレベルステップで行うものとし、最初のステップは水がちょうど内部ドラムに入るときとします。必要に応じて、さらに多くの校正ステップを作ることができます。

- OPTIONS MENU (オプションメニュー) に進みます。
- SELECT (選択) を押します。
- SERVICE MODE (サービスモード) に進みます。
- SELECT (選択) を押します。
- これでディスプレイに SERVICE MODE (サービスモード) メニューが表示されるようになりました。
- ドアを閉めてください。
- CALIB. OF LEVEL SENSOR (レベルセンサーの校正) に進みます。
- SELECT (選択) を押します。



- OPEN (開く) を押して、ルーラーが置かれている内部ドラムの底に水が届くまで水を入れます。
- OK を押します。
- ルーラーで読み取った値をRU単位で入力します (最初の設定は0 = ドラムのレベルです)。
- OK を押します。
- OPEN (開く) を押して、さらに水を注入します。
- OK を押します。
- ルーラーで読み取った値をRU単位で入力します。(間違った値を入力した場合は、CLRを押してください)。新しい値を入力します。
- OK を押します。
- さらに3つの値を入力し、これで5つの全く異なる値になります。
- すべての値を入力したら、SAVE (保存) を押してください。

```
LEVEL CALIBRATION
FILL WATER TO DESIRED LEVEL
LEVEL: 0 SCU
OK OPEN
```

- OK を押します。
- EXIT (終了) に進みます。
- SELECT (選択) を押します。

```
LEVEL CALIBRATION
OLD CALIBRATION WILL BE OVERWRITTEN ARE YOU SURE?
PRESS OK ELSE PRESS ANY OTHER KEY
OK
```

12スケールの校正 (ウェイト機能)

スケールのゼロ調整 (ウェイト機能)

スケール自体は工場出荷時に校正されており、一部の部品を交換する必要がない限り、調整は不要です。ただし、機械の総重量をスケールにプログラムする必要があるため、ゼロ調整を行う必要があります。

給水ホースと排水ホースが所定の位置にあり、適切に取り付けられていることを確認してください。

すべてのパネルが取り付けられ、電源接続部のカバーが機械の上に置かれていることを確認してください。

- SERVICE MODE (サービスモード) に入ります。
- SERVICE MODE (サービスモード) で、SCALE ADJUSTMENT (スケール調整) に進みます。
- SELECT (選択) を押します。
- ZERO CALIBRATION (ゼロ校正) に進みます。
- SELECT (選択) を押します。
- SELECT (選択) を押します (機械に余分な重量がかかっていないことを確認してください。また、機械に寄りかからないでください)。
- RESET SCALE FROM CALIBRATION... (スケールを校正モードからリセットする) と表示されたら、SELECT (選択) を押します。
- EXIT (終了) に進みます。
- SELECT (選択) を押します。
- メインメニューに戻ります。

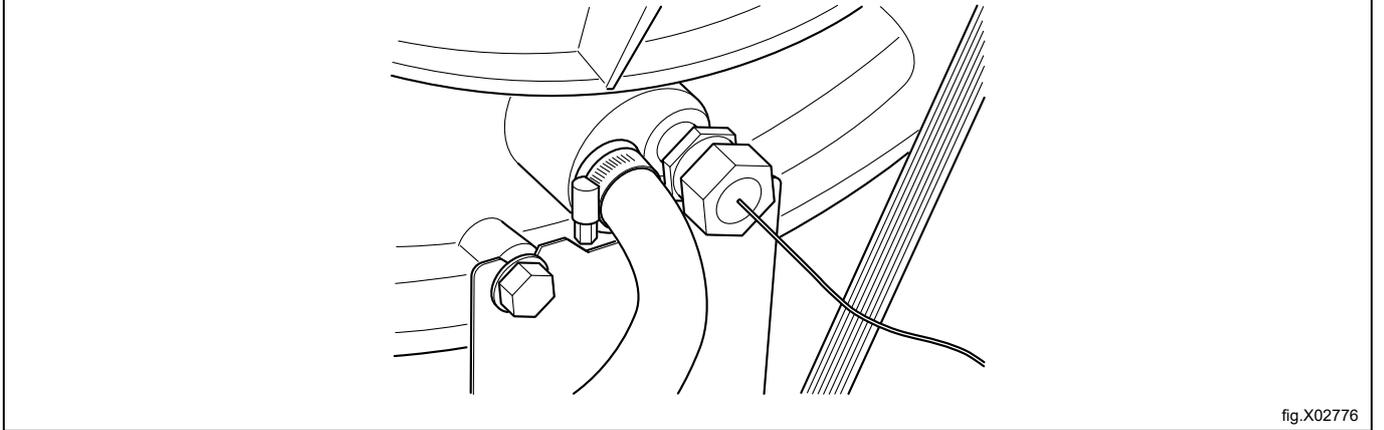
これでゼロ調整が完了し、空の機械の重量がディスプレイに0.0kgと表示されるようになりました (± 0.1 kgの誤差は許容されます)。それ以外の値がディスプレイに表示された場合は、ゼロ調整を最初からやり直す必要があります。

13 サーモセンサーの接続

本機には、外部のサーモセンサーを接続することができます。

ドラムの裏側に、センサーを接続するためのソケットがあります。センサーには、1/4" のクランプナットを使用します。

センサーの最大挿入位置は、ソケットの端から50mmです。回転するドラムがあることを忘れないでください。



14 廃棄に関する情報

14.1 本機の耐用年数終了時の廃棄

装置を処分する前に、廃棄作業中に、その物理的状態、特に構造部分のパーツの曲がりやたわみ、破損などを注意深くチェックしてください。

本機の部品は、部品ごとの異なる材質（金属、オイル、グリース、プラスチック、ラバーなど）により分別廃棄する必要があります。

施行されている法律は各国で異なるので、装置の解体を実施する国の法規定、および管轄権を有する機関に準拠してください。

通常、本機は専門の収集・廃棄センターに持ち込む必要があります。

本機を分解し、部品やコンポーネントを化学的特性に基づいて取りまとめてください。この場合、コンプレッサーには潤滑油と冷媒が含まれていること、そしてそれらは再生できることを覚えておいてください。またクーラーとヒートポンプコンポーネントは、一般廃棄物と一緒に廃棄できる特別廃棄物であることも覚えておいてください。



製品に付されている記号は、本製品が一般廃棄物として取り扱うことができないことを示しており、そのため環境および人体に悪影響を及ぼすことを防止するために正しく破棄する必要があります。本製品の再生に関する詳細は、お近くのディーラーや代理店、カスタマーケアサービス、または廃棄物に関する地方団体にお問い合わせください。

注

装置の処分時に、すべてのマーキング、本マニュアル、その他装置に関する書類を破壊する必要があります。

14.2 梱包材の廃棄

梱包は、装置の使用国における現行法規に従って廃棄する必要があります。全ての梱包材は環境に優しい材料を使用しています。

製品は適切なごみ焼却場において、安全に保管、再生、焼却されます。再生可能なプラスチック部品は、次のような印が付されています。

 PE	ポリエチレン： ・ 外装 ・ 説明書の入った袋
 PP	ポリプロピレン： ・ ストラップ
 PS	発泡スチロール： ・ 角の保護



Electrolux Professional AB
341 80 Ljungby, Sweden
www.electroluxprofessional.com